

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	6 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成
-----	---------------------

施策主管課	学校教育課	総合計画記載頁	113ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	9 信頼される学校教育を推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。
------	------------------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------------------------

2 施策の取組状況

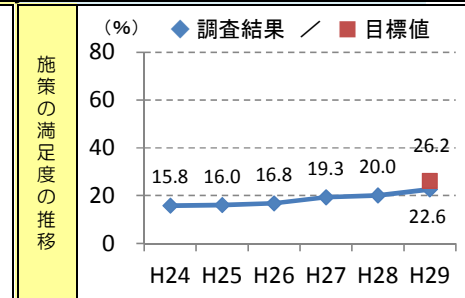
施策目標	教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。
------	------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	教員マイスター制度(受講者)と うつつのみや授業の達人(※)(表 彰者)の対象人数(人)	単年度 目標値	42	52	62	72	82			92	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	15.8%	16.0%	16.8%		19.3%	20.0%
	現状値	32人	実績値	41	55	66	82	147	211	目標値 (H29)	26.2%			前年度からの 増減		0.2pt	0.8pt	2.5pt	0.7pt	2.6pt	
	目標値 (H29)	92人	単年度の 達成度	97.6%	105.8%	106.5%	113.9%	179.3%	229.3%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B		
指標2	「教職員は協力し、児童(生徒)のよいと ころを認め、教えるべきことをしっかりと 熱心に指導している。」と回答した全対 象者の割合	単年度 目標値	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%	96.0%	97.0%	A	【参考】 中核市等との 水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29			
	現状値	90.3%	実績値	94.2%	95.5%	95.6%	95.7%	95.3%			96.0%	中核市平均									
	目標値 (H29)	97.0%	単年度の 達成度	102.4%	102.7%	101.7%	100.7%	99.3%			99.0%	実績値									
			単年度 目標値								中核市での本 市の順位										
			実績値								中核市平均										
			単年度の 達成度								実績値										

※「うつつのみや授業の達人」表彰制度については、平成28年度より「宇都宮市教職員表彰」に移行

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 教員を取り巻く社会状況が急速に変化し、学校教育が抱える課題も複雑・多様化する現在、教員には、教職に対する強い情熱、教育の専門家としての確かな力量、総合的な人間力を兼ね備えることがこれまで以上に求められている。 教職員の大量退職と、それに伴う大量の新規採用が進んでおり、若手教員の授業力向上と層の薄い30代~40代の中堅教職員に組織マネジメント力の向上が求められている。 教職員の働き方改革が進められ、限られた時間の中でも、意欲と高い専門性をもって、児童生徒に丁寧に関わりながら、質の高い授業を実現するためには、学校と教師がそれぞれ担うべき業務を整理した上で、教師の専門性を踏まえ、適正化を図っていく必要がある。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 本市においては、「小中一貫教育・地域学校園」をはじめ様々な事業が定着し、学校開放などを通じて保護者・地域住民に、教職員が熱心に取り組む様子が伝わっており、さらに、学校ホームページの積極的な活用を通して広く市民に対しても情報を発信し、周知・啓発を進めた結果、着実に市民満足度の向上が見られた。 	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の授業力向上に向けて、校内研修や校内OJTの推進、地域学校園での共通テーマによる学び合いなどを積極的に行うなど、各学校が熱心に取り組んだ成果が見られる。 授業等の教育活動において高い指導力や専門性を発揮している者に加え、平成28年度より新たに「宇都宮市教職員表彰」を開始し、学校運営や地域連携等に貢献している教員を表彰することにより、教職員の一層の資質能力と勤務意欲の向上と各学校の組織力の向上を図ったことにより、実績値が大きく目標値を上回った。 これらの教員を研修講師として活用するとともに、人事異動の際に各学校へバランスよく配置し、学校内OJTの活性化を推進することにより、教員の意欲向上をはじめとした全体のレベルアップが図られた。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H29事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	教職員研修事業	○★	教職員の資質能力の向上	宇都宮市立小中学校教職員	・教職員研修の実施 ・中堅教員がベテラン教員と組んでOJTを実施 ・2～4年目教員がOJTを実施 ・2～4年目事務職員がOJTを実施	計画どおり	6,065	H12		教職員研修計画に基づき、若手教職員の資質・能力の向上や将来のリーダー育成として中堅教諭研修の充実を図るなど、教職員のキャリア段階に応じた研修を計画的に実施する。 特に、新学習指導要領への対応及び不登校対策の強化など、喫緊の課題に重点を置いた研修を実施する。 また、毎年研修計画を見直し、教職員の資質・能力の向上に取組む。
2	公開講座「教育なう」事業	★	教職員や市民の教育に関する課題意識の向上	宇都宮市立小中学校教職員及び市民	教職員及び市民対象の土曜公開講座の実施	計画どおり	100	土曜: ⇒H15		教職員や市民が参加しやすい土曜日に公開講座を実施し、教職員の資質・能力の向上を図るとともに市民の教育の理解を深めるため、今後とも本講座を実施していく。
3	「宇都宮市教職員表彰」	★	授業等の教育活動において高い指導力や専門性を発揮している者及び学校運営や地域連携等に貢献している者を表彰することにより、教職員の一層の資質能力と勤務意欲の向上に資する。	市立小・中学校教職員	模範として推奨すべき教職員の顕彰の実施	計画どおり	—	H22		授業・指導部門、校務部門の2部門において全教職員を表彰対象とする本制度の更なる周知を図るとともに、教職員のモチベーション向上のための活用を推進する。本事業は平成30年度で3年目を迎えるが、学校経営の活性化のために、新たな視点から更なる人材の表彰に努めていく。
4	いきいき学校プラン推進事業(宇都宮市学校教育推進計画)	★	うつのみや「いきいき学校」プラン(宇都宮市学校教育推進計画)の着実な推進	市立小・中学校(全93校)	学校教育スタンダードの推進などを通じた「学校教育推進計画」の具現化	計画どおり	4,500	H17	独自性 先駆的	平成30年2月に策定した第2次計画に位置付けられた施策・事業を着実に推進するとともに、学校教育スタンダードの改定を行い、本市学校教育の一層の充実を図る。
5	授業力向上プロジェクト	○★	教員一人一人の授業力向上	市立小・中学校教員	・研究学校への学校訪問による指導・助言 ・研究発表会の開催 ・「授業力向上プロジェクトだより」の発行	計画どおり	2,700	H21		教員の授業力向上を図るため、「一人一授業」などを通して取組を推進してきた。現在、教職員の大量退職・大量採用を踏まえた若手教員の授業力向上が喫緊の課題となっていることから、分かる授業の基盤となる指導法等について、プロジェクトだよりの配付・活用や授業研究会を通じた指導・助言を一層推進するとともに、各学校が行う授業力向上に向けた共通実践を促進するため、学習指導主任研修会等において効果的な実践の在り方についての情報提供を行う。 併せて、新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「宇都宮モデル」による授業実践例を示すなどして授業改善を促進する。

4 今後の施策の取組方針

課題	今後の方向性	
	方向性	
◆平成24年4月に策定した「教職員人材育成システム」に基づき、本市教職員に求められる資質能力である、「専門性・指導力」「総合的な人間力」「教育への情熱」の3点を有する教職員を育成するとともに、平成30年3月に策定された「栃木県教員育成指標」を踏まえ、キャリア段階と身に付けたい資質能力を明らかにし、各段階や喫緊の課題に応じた研修を適切に実施していく必要がある。	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆「教職員人材育成システム」に基づき、「宇都宮市教職員研修計画」を着実に推進するため、本市教育の現状と課題を踏まえ、校内及び地域学校園内の研修の強化並びにセンター研修の充実を図る。</p>	
◆教職員の大量退職・大量採用の時期にあることから、引き続き、教職員の指導力向上と服務規律の徹底を目指し、教育センター研修や校内研修を計画的・継続的に実施していく必要がある。	<p>〈主要事業〉</p> <p>◆キャリア段階に対応した研修と資質や指導力向上のための専門研修の充実を図るとともに、新たに構築した教職員表彰制度を有効に活用しながら、若手教員への段階的な指導力向上の研修や中堅教員への学校経営への参画を視野に入れた組織マネジメント力の育成など、中長期的な視点に立った研修と喫緊の課題に応じた研修を総合的に実施していく。</p> <p>◆センター研修と校内OJTとを効果的に機能させたり、地域学校園を活用した教職員合同の研修などを通して、継続的に資質能力の向上を図っていく。</p> <p>◆授業力向上プロジェクトを推進する中で、新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の充実や若手教員育成のため、プロジェクトだよりの配付・活用や授業研究会を通じた指導・助言を一層推進し、教員一人一人の授業力向上を図る。</p>	
◆次代を担う30代、40代の教職員の組織マネジメント力の向上やチーム学校を推進するための管理職のリーダーシップ強化など、今後の教育に必要とされる対応力の向上が課題である。		
◆本市教職員の一層の資質能力の向上と学校の中核リーダーとしての活躍を促進し、勤務意欲の向上を図るために、授業実践だけでなく、学校運営や地域連携等における優れた取組を「宇都宮市教職員表彰」として表彰してきたが、今後は、学校の中核を担う中堅教職員がミドルリーダーとして学校経営への参画意識をより一層高めていけるように、表彰対象として推薦するよう促していく必要がある。		
◆市民への理解と周知を図るため、教職員の表彰制度や授業力向上のための教職員の取組について、パブリシティなどの広報活動を行っていく必要がある。	<p>〈その他個別事業〉</p> <p>◆実施3年目を迎える「宇都宮市教職員表彰」において、積極的に授業力向上に取り組む30代～40代の中堅教員を取り上げることで、ミドルリーダーの計画的育成と学校経営の活性化を図っていく。</p>	